

# 令和4年度 教育サックス賞 受賞者一覧

No	個人名 /団体名	受賞理由	内申校
1	タムラ マサトシ 田村 正敏	平成25年から、本所方面の多数の児童の安全な登校のため、現在のアオキ付近の歩道に毎日立ち、信号機のない横断歩道を渡る登校班の誘導を天候に関係なく1年を通じて自主的にされている。また、平成27年度からは、1年生の下校見守りボランティアとして、毎日自宅から学校へ歩いて来られて、本所方面チーム15名程の安全を見守りながら、一緒に下校されている。大変気さくな人柄で、常に温かい声がけをしながら子どもと接し、子どもたちは安心感をもちながら下校できている。また、下校中、気になる様子が見られると、すぐさま学校へ情報提供するなど、学校との連携も欠かさず行い、様々な問題解決にも貢献している。	見附小
2	ナギノ ショウガクコウ クサナギオウ 名木野小学校草薙応援団 エンダン フラワークラブ	平成20年から14年に渡り、名木野小学校4, 5, 6年生のクラブ活動（1回45分、年間10回程度）で担当学校職員と連携し、直接子どもたちに生け花等を指導している。共創郷育を学校と共に推進し、情操教育の一端を担っている。また、職員玄関に生け花を常設、週に2回程度来校し、季節の花で教育環境の向上に寄与している。 名木野小学校創立150周年記念式典では、フラワークラブの児童と共に生け花やフラスワーアレンジメント等を会場に飾り、式典に華を添えた。	名木野小
3	ナギノ ショウガクコウ クサナギオウ 名木野小学校草薙応援団 エンダン ホンダイスキタイ 本大好き隊	名木野小学校の全校児童に年間を通じて読み聞かせ活動を行っている。朝読書の時間（8:15～8:30）に良書を選び、児童のニーズを考慮して毎回児童を夢中にさせている。名木野小学校の学力向上対策と連携し、語彙の獲得や読解力の向上も視野に、読み聞かせの方法等を工夫することで支援している。 見附子育て教育週間では、名木野小学校の読書運動と活動を連動させており、令和4年度には12月末現在12回の読み聞かせを行っている。	名木野小
4	ツバキワフ ドウカイ 椿澤舞導会	江戸時代末期から明治初期まで習い伝えられてきた椿澤の神楽舞が、時が進むにつれて衰えまさに絶えようとする状態になり、明治10年1月に当時の青年を網羅して組織されたのが始まりである。その後、明治45年2月有志の集まりによって「椿澤舞導会」となり、今日に至る。 舞は、稚児舞を含め十七舞あり、稚児舞は地域の子どもたちに教え伝えられてきたが、いつからか椿澤舞導会が外部指導者となり、田井小学校の教育活動の一環として児童が地域の伝統芸能「稚児舞」を学ぶようになった。この教育活動は一時途絶えていたが、平成22年度に再開された。その後、令和3年度まで10年間継続して行われ、毎年、学習発表会や地域の敬老会で、子どもたちの稚児舞が、保護者や地域の方に披露された。 田井小学校の児童にとって、普段、触れることの少ない伝統芸能を体験できたこと、伝統芸能を守り受け継ぐ人々の熱意を感じられたことは、大きな学びである。	田井小
5	とんことり	平成20年6月の結成以来現在までの13年間、毎月1回保健福祉センターにて乳児と保護者への読み聞かせを行い、絵本を通して親子の暖かい触れ合いの場を育んでいる。 また月1回保育園で年齢別の各クラスへの読み聞かせをおこない、子どもの発達段階・年齢に合わせた適切な選書による読み聞かせは、幼児に絵本を楽しむ身近なものとして、読書への関心を高めている。小学校や夏休みの図書館行事や学童保育への読み聞かせも行い、多岐にわたり積極的に子どもの読書推進に取り組んでいる。 幅広い年齢の子どもに「良質の本を」の思いより会員の学習意欲が高く、児童書の勉強会を毎月1回行い、県内で開催される子ども読書推進研修会にも積極的に参加し、読書に関する自己研鑽を怠らない。 その活動内容は、市内の読み聞かせボランティアサークルの手本となっている。支援センターでの乳幼児の保護者への働きかけは、読み聞かせを通じた地域の連携を築いている。 令和4年 新潟県読書推進協議会第55回読書週間に係る優良読書グループ表彰団体 県表彰	図書館